

|     |                                     |    |              |                 |            |      |
|-----|-------------------------------------|----|--------------|-----------------|------------|------|
| 陳 情 | 受 理<br>番 号                          | 65 | 受 理<br>年 月 日 | 令和 8 年 5 月 29 日 | 付 託<br>委員会 | 厚生経済 |
| 件 名 | 小児に対するインフルエンザワクチン接種費用の助成制度創設の検討について |    |              |                 |            |      |

みだしの件について、別紙のとおり陳情いたしますので、よろしくお願いいたします。

件 名 小児に対するインフルエンザワクチン接種費用の助成制度創設の検討について（陳情）

#### 陳情の趣旨

那覇市において、乳児・小児に対するインフルエンザワクチン接種費用の助成制度の創設についてご検討いただきたく、陳情いたします。

#### 陳情の理由

現在、インフルエンザは毎年流行を繰り返しており、特に学校や保育施設においては学級閉鎖等が発生し、子どもたちの教育機会に影響を及ぼしています。これにより学習の遅れが生じる可能性があるだけでなく、保護者が仕事を休まざるを得ない状況となり、家庭および地域社会の生産性にも影響を与えています。

また、沖縄県内外の複数の自治体においては、小児を対象としたインフルエンザワクチン接種費用の助成制度が導入されており、県内においても既に 10 カ所以上の自治体で実施されています。一方で、那覇市においては現時点で同様の制度が整備されていない状況です。

加えて、沖縄県は他県と比較して一世帯あたりの子どもの数が多い傾向にあり、家庭ごとの経済的負担が大きくなりやすい地域特性があります。複数の子どもに対して毎年ワクチン接種費用を負担することは、家計への大きな負担となっています。

さらに、子どもが多い家庭においては感染機会が増えやすく、家庭内での感染拡大や、同居する高齢者への感染リスクの増加も懸念されます。

加えて、インフルエンザワクチンの接種は重症化の予防に寄与し、医療機関の受診数の抑制や入院の回避につながることを期待されます。結果として、医療費全体の抑制や医療機関の負担軽減にも資するものであり、地域医療体制の維持という観点からも重要と考えます。

これらの状況を踏まえ、以上の通り陳情いたします。